

現在・未来の暮らしに役立つ情報誌

# 総務省



MIC

Ministry of  
Internal Affairs and  
Communications

MIC MONTHLY MAGAZINE

6

2025 June  
Vol.294

P.2

特集 令和7年度

# 総務省所管予算 の概要

MIC NEWS01

P.10

令和7年6月8日(日)から6月14日(土)は  
「危険物安全週間」です

MIC NEWS02

P.11

すべての固定電話サービス提供事業者間で  
番号ポータビリティが利用できるようになりました

MIC NEWS03

P.12

令和7年6月17日(火)開講  
「社会人のためのデータサイエンス入門」受講者募集中

MIC NEWS04

P.13

熱中症から身を守りましょう!

地域 DX のヒント

P.14

群馬県が取り組む県職員人材シェアリング事業

P.6 地方のかがやき

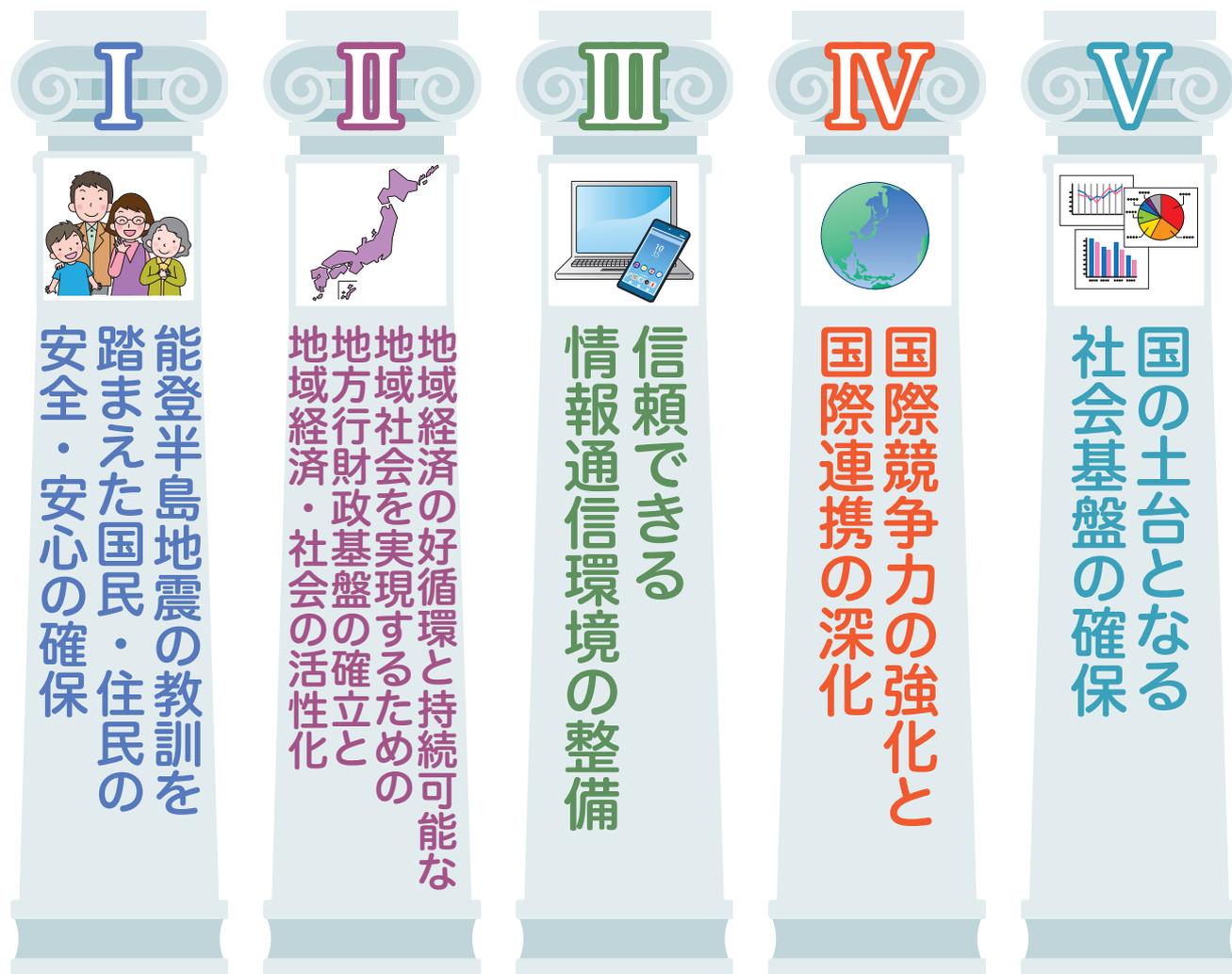
## 福島市

入梅

梅雨入りを迎える  
ころ、美しい睡蓮の  
花が湖面を彩りはじめ  
ます。見ごろは10月まで。  
雨の日も絵画のような風情です。  
表紙の写真：照南湖ビオパークの睡蓮の花（福島市）

# 総務省所管予算の概要

## 総務省予算 5つの柱



総務省は、安全・安心で持続可能な地域社会と信頼できる情報通信環境を実現し、世界をリード（総務省重点政策 2025）に掲げる施策を実現するため令和7年度総務省所管予算を編成しました。

本予算により、総務省は、①通信・放送インフラの強靱化、消防防災力・地域防災力の強化、災害時における人的支援の強化、②地方の一般財源総額の確保等、地域 DX の推進、地域活性化・地域で活躍する人材の充実等、自治体間の連携・協力の推進、人口減少下の住民サービスの確保、③デジタル空間の健全性の確保等、誰一人取り残されないデジタル社会の実現（デジタル・ディバイド対策）、サイバーセキュリティ対策の強力な推進、④新技術開発・国際的なルール作り・海外展開の一体的推進、「製作・権利処理・流通」の好循環による放送コンテンツの製作力強化・海外展開推進、水素等の GX 新技術の取組環境の整備、経済安全保障の確保等、⑤郵便局のユニバーサルサービスの充実と公共サービスの拡大、郵便局の活用による地域社会の持続可能性の確保、行政運営の改善を通じた行政の質の向上、EBPM の推進及び基盤となる統計の整備、主権者教育の推進と投票しやすい環境等の一層の整備、恩給の適切な支給などを行います。

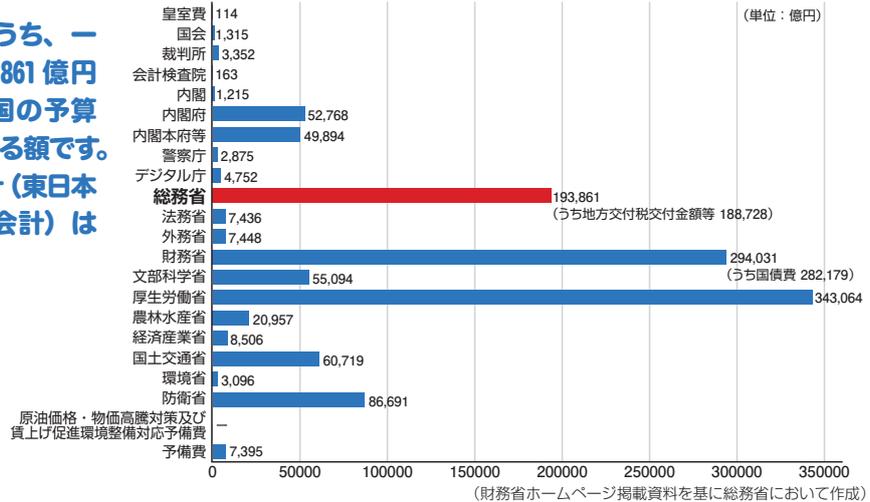
Q 総務省の予算っていくらあるの？



A

総務省予算のうち、一般会計は19兆3,861億円であり、これは国の予算の約16.8%を占める額です。また、特別会計（東日本大震災復興特別会計）は667億円です。

令和7年度一般会計歳出概算所管別内訳



Q 今年度において新たに始める案件は何かあるの？



A

今年度の新規施策については次のようなものがあります。  
○携帯電話基地局の強靱化など

A

それでは、令和7年度総務省所管予算から、総務省がどのような取組を行うのか、見てみましょう。



## I 能登半島地震の教訓を踏まえた国民・住民の安全・安心の確保



### 1. 通信・放送インフラの強靱化

548.0 億円

- (1) 携帯電話基地局の強靱化、復旧体制の拡充、非常時の事業者間ローミングの実現 24.0 億円
- (2) 地上波・ケーブルテレビネットワークの耐災害性強化 19.0 億円
- (3) 地上基幹放送の小規模中継局等のブロードバンド代替等の支援 10.0 億円
- (4) 情報通信インフラ整備加速化パッケージ 39.9 億円
- (5) 電気通信事故の検証等による電気通信役務の安全・信頼性の確保 1.2 億円

- (6) 電波の有効利用促進 452.8 億円
- (7) 自動運転の社会実装を促進するためのデジタル基盤整備 (65.2億円の内数)
- (8) 非地上系ネットワーク (NTN)の展開の促進 (135.4 億円の内数)
- (9) Lアラートによる災害情報・データの確実な伝達の推進 1.2 億円

### 2. 消防防災力・地域防災力の強化

98.2 億円

- (1) 能登半島地震を踏まえた消防防災体制の強化 53.7 億円
- (2) 消防防災分野のDX・新技術の推進 6.3 億円
- (3) 消防団や自主防災組織等の充実強化 7.8 億円
- (4) 常備消防等の充実強化 15.4 億円

- (5) 火災予防対策の推進 1.7 億円
- (6) 自治体の災害対応能力・国民保護体制の強化 4.8 億円
- (7) 消防防災分野における女性や若者の活躍推進 0.7 億円
- (8) 被災地における消防防災体制の充実強化 7.9 億円

### 3. 災害時における人的支援の強化

0.8 億円

- (1) 特別行政相談における自治体等との連携強化 0.1 億円

- (2) 官民連携による非常時の通信確保支援 0.7 億円



## 地域経済の好循環と持続可能な地域社会を実現するための 地方行財政基盤の確立と地域経済・社会の活性化



### 4. 地方の一般財源総額の確保等 192,767.3 億円

(1) 地方の一般財源総額の確保	191,510.4 億円	(3) 東日本大震災に係る地方の復旧・復興事業等の事業費及び財源の確実な確保	871.4 億円
(2) 基地交付金・調整交付金の増額確保	385.4 億円		

### 5. 地域DXの推進 208.6 億円

(1) マイナンバーカードの利便性・機能向上、円滑な取得・更新環境整備	203.5 億円	(4) 自治体の情報セキュリティ向上	0.7 億円
(2) マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化の全国展開の推進	—	(5) 自治体フロントヤード改革の推進・横展開	—
(3) 自治体情報システムの標準化・共通化	2.1 億円	(6) AI や自動運転等の先端技術・データ等を用いた地域社会 DX 推進パッケージ	2.3 億円

### 6. 地域活性化・地域で活躍する人材の充実等 18.3 億円

(1) 地域おこし協力隊等の充実	2.6 億円	(4) 大学等と地域が連携して取り組む地域課題解決プロジェクトの支援	—
(2) 地域活性化起業人のマッチング支援	—	(5) ローカル10,000プロジェクト等の推進	6.2 億円
(3) 都道府県と市町村が連携したDX推進体制の構築に向けたデジタル人材確保プロジェクト	—	(6) 過疎対策の推進	8.0 億円
		(7) 関係人口等の創出・拡大	1.5 億円

### 7. 自治体間の連携・協力の推進 —

(1) 広域連携による市町村事務の共同実施モデルの構築	—
-----------------------------	---

### 8. 人口減少下の住民サービスの確保 10.1 億円

(1) 行政相談でのデジタル活用や自治体連携等による課題解決の推進	6.9 億円	(3) 光ファイバ未整備地域の解消、公設光ファイバの民設移行の推進	(43.0億円の内数)
(2) 地域の多様な主体の連携及び協働の推進	—	(4) 住民サービス等の提供拠点の集約化等による郵便局の「コミュニティ・ハブ」としての活用推進	(1.5 億円)



## 信頼できる情報通信環境の整備



### 9. デジタル空間の健全性の確保等 44.3 億円

(1) インターネット上の偽・誤情報等への総合的対策の推進	0.5 億円	(3) 幅広い世代を対象としたICT活用のためのリテラシー向上推進	2.2 億円
(2) 電気通信サービスの不適正利用対策の推進、電気通信番号制度の見直し	4.2 億円	(4) デジタル時代における放送制度の検討	37.4 億円

### 10. 誰一人取り残されないデジタル社会の実現（デジタル・ディバイド対策） 11.8 億円

(1) 高齢者等に向けたデジタル活用支援の推進	4.3 億円	(3) 自治体フロントヤード改革の推進・横展開	—
(2) 情報アクセシビリティの確保	7.5 億円	(4) 行政相談で一人ひとりに寄り添ったデジタル・ディバイド対応の推進	(6.9 億円の内数)

### 11. サイバーセキュリティ対策の強力な推進 52.9 億円

(1) 生成 AI 等を活用したセキュリティの確保	—	(4) 総合的な IoT セキュリティ対策の強化	15.8 億円
(2) 国や自治体、医療分野等でのセキュリティ人材育成	21.5 億円	(5) 諸外国のサイバーセキュリティ関連制度等の調査研究	2.5 億円
(3) 政府端末情報を活用したサイバーセキュリティ情報の収集・分析	13.0 億円	(6) 自治体の情報セキュリティ向上	(0.7 億円)

## IV 国際競争力の強化と国際連携の深化



<b>12. 新技術開発・国際的なルール作り・海外展開の一体的推進</b>	<b>501.7 億円</b>
(1) AI 開発力の強化と広島 AI プロセスの成果の国際的普及	4.2 億円
(2) 次世代情報通信基盤Beyond 5Gの研究開発・国際標準化・社会実装・海外展開の加速	153.9 億円
(3) 宇宙通信分野における先端技術開発の推進	—
(4) 量子通信技術等や基礎的・基盤的な研究開発の推進	340.1 億円
(5) ICT分野におけるスタートアップ育成の推進	3.0 億円
(6) 生成AIを含めたAI事業者ガイドラインの整備・普及	0.4 億円
(7) 没入型技術の利活用における利用環境の整備	—
<b>13. 「製作・権利処理・流通」の好循環による放送コンテンツの製作力強化・海外展開推進</b>	<b>2.9 億円</b>
(1) 海外向け放送コンテンツの製作促進に向けたクリエイターの人材育成、4K等先進的デジタル設備の利用環境整備	0.3 億円
(2) 製作取引の適正化	0.4 億円
(3) 権利処理の効率化	0.3 億円
(4) 放送コンテンツの海外流通円滑化のための共同配信機能の整備等	1.9 億円
<b>14. 水素等のGX 新技術の取組環境の整備</b>	<b>—</b>
(1) 水素等の GX 新技術に係る危険物規制のあり方の検討	—
<b>15. 経済安全保障の確保等</b>	<b>32.7 億円</b>
(1) データセンターの分散立地の推進	—
(2) デジタル技術を活用したシステム・サービスの海外展開の支援、国際海底ケーブルの敷設・保守体制の強化	21.6 億円
(3) 郵便、消防、行政相談の海外展開・国際連携の推進	11.1 億円

## V 国の土台となる社会基盤の確保



<b>16. 郵便局のユニバーサルサービスの充実と公共サービスの拡大</b>	<b>0.5 億円</b>
(1) ユニバーサルサービスの確保、郵便局の行政サービス窓口としての活用	0.5 億円
<b>17. 郵便局の活用による地域社会の持続可能性の確保</b>	<b>1.5 億円</b>
(1) 住民サービス等の提供拠点の集約化等による郵便局の「コミュニティ・ハブ」としての活用推進	1.5 億円
<b>18. 行政運営の改善を通じた行政の質の向上</b>	<b>2.8 億円</b>
(1) 国・地方共通相談チャットボット(ガボット)を中心とした国の行政相談業務における生成AIの有効的な活用に向けた調査研究	—
(2) 各府省の行政運営の改善や DX 推進に関する調査の充実・強化	1.3 億円
(3) 行政機関等に共通する基本的な法制度、独立行政法人制度の運営・改善	1.1 億円
(4) 独法 DX の推進、業務改革人材の育成等を通じた行政運営の変革	0.5 億円
<b>19. EBPM の推進及び基盤となる統計の整備</b>	<b>821.1 億円</b>
(1) 政策効果の把握・分析(EBPM)の推進による各府省の政策立案等の支援	1.1 億円
(2) 令和7年国勢調査など社会・経済実態の把握に資する統計調査の実施	818.2 億円
(3) 統計データの利活用など公的統計DXを促進	1.8 億円
<b>20. 主権者教育の推進と投票しやすい環境等の一層の整備</b>	<b>1.6 億円</b>
(1) 主権者教育の推進等	1.6 億円
(2) 諸外国の選挙制度等の調査研究	—
<b>21. 恩給の適切な支給</b>	<b>557.2 億円</b>
(1) 受給者の生活を支える恩給の確実な支給	557.2 億円
<b>22. その他の主要事項</b>	<b>1,004.3 億円</b>
(1) 参議院議員通常選挙関係経費	688.9 億円
(2) 政党交付金	315.4 億円



総務省は、これらの取組を着実に進めてまいります。



「くだもの宝石箱」とも呼ばれる福島市。盆地特有の気候と風土を生かし、モモの「あかつき」をはじめ、ナシの「幸水」やブドウの「巨峰」、リンゴの「サンふじ」など、季節ごとに新鮮な果物が楽しめる。

### 果物のまち



福島市には「飯坂温泉」「土湯温泉」「高湯温泉」のふくしま三名湯がある。飯坂は歴史ある街中の湯、土湯は自然豊かな静かな湯、高湯は白濁の硫黄泉が特徴。いずれも個性豊かで魅力的な名湯がそろっている。

### 温泉のまち



福島市では四季折々の美しい景観が楽しめる。春には信夫山や花見山が桜で彩られ、夏には吾妻連峰の緑が鮮やかに広がる。秋になると磐梯吾妻スカイラインから紅葉のパノラマが望め、冬には温泉地周辺が雪景色に包まれる。

### 景観のまち



こどもを笑顔にする  
実・湧・満・彩

# 福島市



## Fukushima-City Profile

福島県の北に位置する福島市は、西は吾妻連峰、東は阿武隈高地に囲まれた地で、中央部には信夫山がある。古くは養蚕と阿武隈川の舟運で栄えた小さな城下町で、市制施行は明治40年(1907年)。

人口：270,536人(令和7年3月1日現在)

面積：767.72 km<sup>2</sup>

URL：<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/>



**福** 島市は、福島県の県庁所在地であり、東北地方の玄関口としても重要な役割を果たしているまちです。市の中心部には信夫山がそびえ、周囲を吾妻連峰や安達太良山などの山々に囲まれ、四季折々に美しい自然の景観を楽しむことができます。果物の産地としても知られ、モモやリンゴ、ナシなどの生産が盛んで、「くだもの宝石箱」として全国に名を馳せています。

また、市内には飯坂温泉や高湯温泉、土湯温泉と

## 円盤餃子

戦後、満州から引き揚げた人々が伝えた餃子文化が起源とされる。餃子を円形に並べて一度に焼き上げ、そのまま皿に盛り付ける独特のスタイルが特徴。





### 旧堀切邸

飯坂温泉にある江戸時代から続いた豪農・豪商の旧家で、県内最大・最古の土蔵「十間蔵」など、歴史的価値の高い建物が現存する。邸内には足湯・手湯も。



### ふくしまの水

福島市の水道水をボトルングした「ふくしまの水」。深い山々が育む清流・すりかがの摺上川を水源とし、水質の面で非常に恵まれている。



### 信夫山

御山とも呼ばれる福島市のシンボル。桜や紅葉の名所として知られ、遊歩道や展望台も整備されており、四季折々の自然が楽しめる。



### 古関裕而記念館

福島市出身の作曲家でNHKの朝ドラ『エール』のモデルにもなった古関裕而の功績をたどる施設。映像や音楽、展示などでその世界観を体感できる。



### いかにじん

県北部で親しまれる郷土料理。細切りのスルメイカとにじんを醤油やみりんで漬け込んだ素朴な味わい。



### UFOふれあい館

UFOに関する資料や目撃情報を展示するユニークな施設。隣接するUFO物産館では地元グルメや土産も充実している。

いった名湯が点在し、多くの観光客を魅了しています。文化面では、昭和の偉大な作曲家・古関裕而の出身地として知られ、NHKの朝ドラ『エール』の舞台としても話題になりました。さらに、夏の風物詩である「福島わらじまつり」や、ユニークな見た目と味で人気の「円盤餃子」なども魅力のひとつです。

近年は、誰ひとり取り残さないデジタル化や子育て支援に力を入れ、市民が安心して暮らせるまちづくりを推進しています。

### 福島わらじまつり

毎年8月上旬に開催される夏の祭り。日本一の大わらじを担いでの練り歩きや、わらじ音頭などが見どころで、市民の熱気と活気あふれる伝統行事として親しまれている。



### 暮らしやすい“ちょうどいい”まち

福島市は水が豊かで四季折々の花や果物が楽しめ、3つの温泉地があります。自然と都市機能が調和した“ちょうどいい”まちが魅力です。

市は業務改革を軸にデジタル化を推進し、高齢者同士の助け合いによるデジタル活用も支援しています。また「子どものえがお条例」を制定し、子育てを地域全体で応援しています。暮らしやすさから移住者も年々増加中です。

福島市長 **木幡 浩**





# 高齢者から自治体ビジネスまで 地域全体のデジタル化



## デジタル推進協議会

福島市のデジタル化を官民一体で推進する組織。市、企業、団体のトップが集まり、デジタル化の方向性を決定し、合意形成を図る。

### 五つの職員改革マインド

# 改革

—Fukushima City—

- 一、職員自らが「改革」する
- 一、市民の利便性の向上と職員自らの負担軽減を意識する
- 一、前例に採られることなく、やり方を見直す
- 一、制度そのものを 変える姿勢をもつ
- 一、まずはやってみて、それから見直しを繰り返す

## かえるチャレンジ

福島市職員による意識・業務改革プロジェクト。改革マインドで業務効率化に努め、創出した時間で市民サービス向上を目指す。



## デジタルクラブ

高齢者同士が自主的に学び合うクラブの設立支援を実施。現在は6つのクラブがあり、スマートフォン講座などを開催している。

**福** 島市は「デジタルで便利で豊かな新ステージへ」を掲げ、地域全体のデジタル化を推進しています。この取組は「日本DX大賞2024」で優秀賞を受賞しました。

特徴的なのは、高齢者などデジタルが苦手な方への手厚い支援です。スマホ講座の開催や、高齢者同士が教え合う「シニアICTサポーター」制度、シルバー人材センターとの連携による相談窓口設置など、誰もがデジタルの恩恵を受けられる環境づくりを進めています。

一方、市役所内部では木幡市長自らがCDO(最高デジタル責任者)となり、現場レベルで横断的なDX化を強力に推進。さらに、職員が業務改善システムを開発する「内製化」にも力を入れ、生まれた議会答弁検討システム「答べんりんく」は他の自治体へ展開する「自治体ビジネス」へと発展しました。市民サービス向上と行政効率化の両輪で、デジタル化を推進しています。

## 「自治体ビジネスを実現 答べんりんく」



福島市職員が内製開発した議会答弁作成支援システム。紙ベースだった答弁作成業務をデジタル化し、大幅な効率化とペーパーレス化を実現した。他自治体にも導入が進む「自治体ビジネス」のモデルケースとなっている。



小学生を対象に、放課後や長期休みに遊び・学びの場を提供する「こどもベース構想」。

福島駅からほど近い教育文化施設「こむこむ館」。開館20年を迎え、設備のリニューアルが決定している。



福島市の取組

こどもの笑顔があふれるまちに

# 子どものおえがお条例

**福** 島市は令和3年6月、「子どものえがお条例」を制定しました。これは市独自の理念条例で、こどもの笑顔を社会全体で作ることを目指します。条例では、市、学校・保育施設、こども、保護者、地域の事業者、地域の人という6者が、それぞれの役割を果たし連携することを定めています。

この理念のもと、「こどもベース構想」、遊びと学びの拠点としての「こむこむ館」リニューアル、学校を利用した放課後の居場所づくりや「特色ある幼児教育・保育」といった具体的な取組を進めています。地域全体でこどもたちの成長を支え、「こどものえがおあふれる福島市」を目指しています。



## スクール・サポート企業登録制度

学校の活動を支援したい企業と学校をつなぐ制度。企業が協力できる内容を登録し、学校側はリストを見て授業や部活動などで連携を依頼できる。こどもたちの興味関心を広げるとともに、教員が企業を探す負担の軽減、企業のイメージアップを図れる。



新鮮な野菜や果物が豊富で、モモの「あかつき」が大好き!

地域おこし協力隊 南雲まりなさん

福島は出身地の長野県に似ていてとても住みやすいです。特に地域の方々の「自分たちで良くしよう」という熱意が素敵です。私は市南部にある松川地区で、毎月開催される朝市の運営補助や、古民家を地域の交流拠点にするための再生プロジェクトサポートをしています。今は再生した古民家で特産品の蕎麦を提供できるよう、蕎麦打ちを勉強中です。



# 令和7年6月8日(日)から 6月14日(土)は 「危険物安全週間」です。

## 危険物の規制と危険物安全週間

「危険物」とは、固体または液体の物品で、①火災が発生する危険性が大きい、②火災が発生した場合に拡大する危険性が大きい、③火災の際の消火が困難であるなどの性状を有する、消防法で定めるものです。私たちの生活に身近なものではガソリンや灯油が危険物に該当します。その他、様々な用途で危険物は使用されており、生活に必要な

不可欠なもののですが、ひとたび危険物に関わる事故が発生すると、大きな被害をもたらされるおそれがあります。そのため、消防法で指定された数量以上の危険物は、市町村長等の許可を受けた施設（以下「危険物施設」といいます）以外の場所では、貯蔵や取り扱ってはならないとされています。また、それらの危険物施設で危険物を取り扱う際には、国家資格である危険物取扱者がいないと、作業を行ってはなりません。

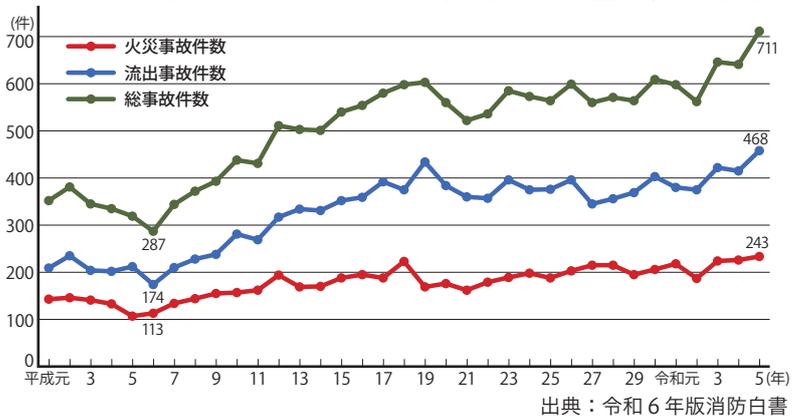


ガソリンや軽油を運ぶタンクローリーは、危険物施設のひとつです。



ガソリンスタンドも危険物施設のひとつで、危険物取扱者の資格を持った従業員がいないと給油ができません。

## 危険物施設における火災及び流出事故発生件数の推移



こうした保安上の規制を行うことにより、火災を予防し、国民の生命、身体および財産を火災から保護し、または火災による被害を軽減することとされています。令和5年中の危険物に係る火災及び流出事故は711件発生しており、そのうち火災は243件です(右上参照)。それらの事故原因をみると、維持管理や操作確認が不十分であるなど人的要因によるものが多くなっています。こうした事故を防止するため、消防庁では、毎年6月第2週を「危険物安全週間」とし、危険物を取り扱う事業所における、保安に対する意識の高揚および啓発を全国的に推進しています。

この危険物安全週間を推進するための標語を募集したと

ころ、応募総数は1万点を超え、委員による審査の結果、

## 「危険物無事故へ挑むゴング鳴る」

に決定いたしました。この標語は、バンタム級とスーパーバンタム級で4団体統一王者となった「井上尚弥」さんがモデルとなる危険物安全週間を推進するポスターなどに活用され、全国の消防本部および危険物施設に送付されます。



## 推進行事

「危険物安全週間」の具体的な推進行事は、次のとおりです。

- 全国の消防機関による危険物施設への立入検査
- 危険物関係事業所の自衛消防組織による消防訓練
- 危険物に関する知識の啓発普及を目的とした講習会や研修会の実施
- 新聞、テレビ、ラジオ等を通じた危険物の保安の確保に関する広報
- 永年にわたり危険物の保安に関する功績を残されている個人や団体、事業所に対する表彰

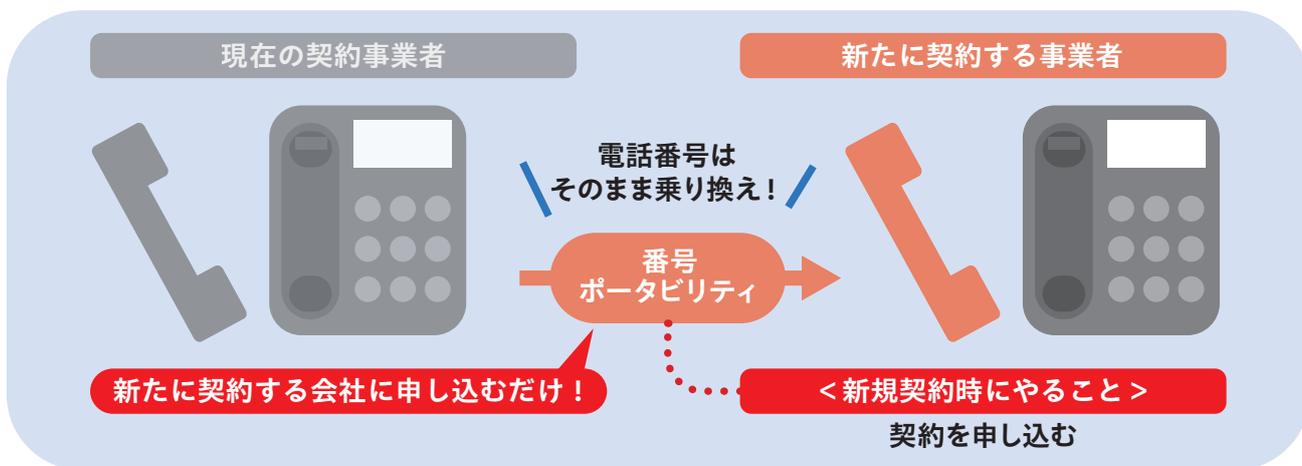
お問い合わせ先

総務省消防庁  
危険物保安室企画係  
Tel 03-5253-7524

## すべての固定電話サービス提供事業者間で 番号ポータビリティが 利用できるようになりました

### Q1 固定電話の番号ポータビリティってなに？

現在契約している固定電話サービス提供事業者から、他の固定電話サービス提供事業者に変更するときに、今使っている固定電話番号を変えることなく契約会社を変更できる制度です。



### Q2 今までと何が違うの？

令和7年1月以前は、NTT 東西の加入電話・INS ネットから、NTT 東西が提供するひかり電話または NTT 東西以外の固定電話サービス提供事業者への番号ポータビリティのみに利用可能でしたが、NTT 東西を含む全ての固定電話サービス提供事業者間で番号ポータビリティが利用できるようになりました。

※一部、番号ポータビリティができない場合がありますのでご注意ください。

### Q3 どういった手続きが必要なの？

新たに契約する固定電話会社に申し込むだけで番号ポータビリティができます。  
ただし、一部契約していた固定電話会社とやり取りが発生する場合があります。

詳しくは総務省ホームページに  
パンフレットを掲載していますので  
ご覧ください

総務省 固定電話の番号ポータビリティ

検索

固定電話番号の番号ポータビリティに関するご相談は、  
移転先事業者にご連絡ください。



# 令和7年6月17日(火)開講 「社会人のためのデータサイエンス入門」 受講者募集中

社会人・大学生を対象とした、統計データ分析の基本的な知識を学べる無料のオンライン講座です。



総務省は、統計リテラシー向上のための取組として、「データサイエンス・オンライン講座」を開講しています。その講座の一つである「社会人のためのデータサイエンス入門」を令和7年6月17日(火)に開講します。

本講座は、統計学の基礎や統計データの見方等、統計データ分析の基本的な知識を学習します。これからデータサイエンス力を身につけたい全ての社会人・大学生に最適な入門編講座です。

統計学のプロフェッショナルが分かりやすく解説する講座をあなたも受講してみませんか？

どなたでも受講登録が可能（登録料および受講料無料）ですので、ぜひ、ご登録ください。

(注)本講座は令和6年6月に実施した講座を再び開講するものです。

## 「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要

- 開講期間 令和7年6月17日(火)～8月19日(火) 予定
- 学習時間 1回10分程度×6～9回程度(1週間)×4週
- 課題 各週の確認テストと最終課題の実施
- 講師 安宅和人氏(慶應義塾大学環境情報学部教授)ほか
- 講座内容

### Week 1: 統計データの活用

統計データを用いた分析事例を知り、統計リテラシーを学ぶ

### Week 2: 統計学の基礎

データ分析に必要な統計学の基礎を学ぶ

### Week 3: データの見方と表し方

データの見方と適切なグラフの選び方を学ぶ

### Week 4: 公的データの使い方

誰もが使える公的統計データの取得方法と使い方を学ぶ

## 受講の流れ

### 受講登録

下記URLまたはQRコードから無料で受講登録

### 講義動画視聴 ディスカッション

講師による説明動画で統計データ分析の基本的知識を分かりやすく解説

### 確認テスト 最終課題

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

### 修了証の取得

確認テストおよび最終課題の得点率により修了証を取得

✓ 受講料 **無料**

✓ スキマ時間でできる!  
1回あたり 約**10分**

✓ **スマホ・タブレット**  
受講OK



受講登録はこちらから

データサイエンス・オンライン講座  
「社会人のためのデータサイエンス入門」  
<https://gacco.org/stat-japan/>



# 熱中症から 身を守りましょう!



全国では毎年、非常に多くの方が熱中症により救急搬送されています。令和6年は、非常に厳しい暑さが長期間にわたって続いたことから、5月から9月までにおける全国の熱中症による救急搬送人員は97,578人となり、集計を開始した平成20年以降、最多となりました。

今年は、4月から最高気温が30℃以上に達し真夏日を記録する地域があるなど、全国的に広く季節外れの暑さになっており、今後も全国的に平年より高い気温になることが予想されることから、熱中症予防にしっかり取り組んでいくことが重要です。

## 熱中症とは

熱中症は、温度や湿度が高い中で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、立ちくらみ、頭痛、吐き気、ひどいときには、けいれんや意識をなくすなど、様々な症状をおこす障害の総称で、最悪の場合は死に至ることがあります。

## 熱中症にならないために心がけること

### 暑さに体を慣らしましょう!

熱中症のなりやすさに関連するものとして、「暑さに体が慣れている」ことが重要です。この暑さに体を慣らすということを、暑熱順化といいます。

暑熱順化は「やや暑い環境」において「ややきつい」と感じる強度で、毎日30分程度の運動（ウォーキング等）を継続することで、2週間程度で完成するといわれています。そのため、日頃からウォーキング等で汗をかく習慣を身に付けて暑熱順化していれば、夏の暑さにも対抗しやすくなり、熱中症にもかかりにくくなります。



ただ、せっかく一度暑熱順化ができて、数日暑さから遠ざかると暑熱順化の効果はなくなってしまいます。梅雨の間や梅雨明け後など、急激に暑くなる時期には、特に熱中症に注意が必要です。

### 基本的な熱中症予防対策を行いましょう!

熱中症は、正しい知識を身に付けることで、未然に防ぐことが可能です。本格的な夏が始まりますので、命を守るため、以下のような基本的な熱中症予防対策をお願いします。



### 暑さを避けよう



### のどがかわいてなくても



### 子ども・高齢者は特に注意が必要です!

#### 子どもは...

#### ① 大人ほど暑さに強くありません

汗をかくなどの体温調節機能が未発達のため、体に熱がこもりやすくなります。

#### ② 自分では熱中症の予防を行えません

体に異変が起きて気づかないことがあるため、周囲の大人が気にかける必要があります。



#### 高齢者は

#### ① 体内の水分が不足しがちです

若年者に比べ体内の水分量が少ないため、こまめに水分補給を行う必要があります。

#### ② 暑さに対する感覚機能が低下しています

加齢により、暑さや喉の渇きに対する感覚が鈍くなります。

#### ③ 暑さに対する体の調整機能が低下します

体に熱がたまりやすく、暑いときには若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。



#### お問い合わせ先

救急お役立ち  
ポータルサイト



熱中症情報  
ホームページ





# 群馬県が取り組む 県職員人材シェアリング事業

地域DXのヒント第15回では、「都道府県と市町村が連携したDX推進体制の構築」について、群馬県の事例をご紹介します。

群馬県では、県庁内部でDXを推進する一方、その効果を、県民が十分に実感できていないという課題を抱えておりました。

こうした背景から、住民に最も身近な市町村のデジタル化を支援することにより、住民の利便性向上と地域課題の解決を図り、県民幸福度の向上を目指すため、県職員人材シェアリング事業の導入を進めております。

本事業の特色として、行政事務やマネジメントについての知見を有し、また、各部局の職員と連携し、自治体業務を継続的かつ直接的に実施できる県庁の内部人材が、自ら市町村職員の支援を行う点があります。

各市町村が任用する外部人材、システムベンダー等の外部関係者との「通訳」として役割を果たすとともに、県・市町村双方の内部人材育成により、地域社会の持続的発展を図ることとしております。

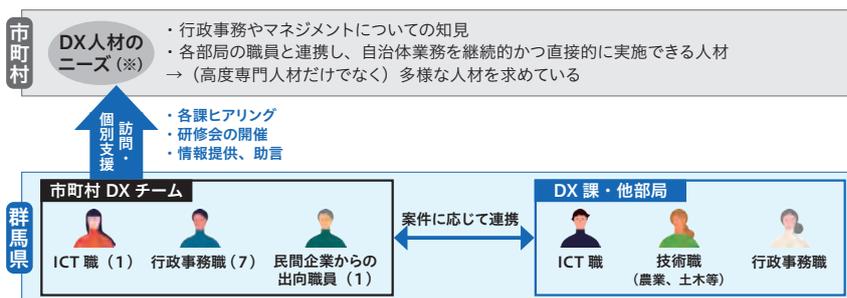
県DX課の市町村支援担当職員を各市町村に配置し、県庁内の関係課とも連携しつつ、訪問・個別支援を通じた市町村のDXの伴走

支援を行っています。

こうした取組の具体的な成果として、システム標準化に係る理解醸成や、電子申請の利用件数の増加、データ利活用による地域課題解決が進んでいるところです。

今後の展望として、「1人情シス」市町村への個別支援の強化により、人材を孤立させない取組等を推進していきます。

## 内部人材（県職員）によるコンサルティング



**まとめ**

- 意義** 市町村DX推進による県民幸福度の向上  
住民に最も身近な市町村のデジタル化を支援することにより、住民の利便性向上と地域課題の解決を図り、県民幸福度の向上を目指す
- 成果** 地域の自立的なDXの流れを創出  
市町村が自らの創意工夫でDXに成功する体験を積み重ねていくことで、市町村のモチベーションを向上させ、さらなるDXにつながる好循環を生み出す
- 特色** 内部人材による支援  
県職員が自ら市町村職員の支援を行い、外部との「通訳」としての役割を果たすとともに、県・市町村双方の内部人材育成により、地域社会の持続的発展を図る

※ 地域DX推進体制の構築やデジタル人材の確保・育成（総務省）  
([https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000955952.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000955952.pdf))

## 編集後記

6月号をお読みいただきありがとうございます。今回、地方のかがやきで紹介したのは福島県福島市です。福島市と言えば、温泉地やくだものが豊富なイメージがございますが、春には花見山の桜や吾妻小富士の雪景色などの自然も美しい、ゆったりとした雰囲気の魅力あふれる町です。また、観

光面だけでなく、市全体でこどもたちを見守り、応援していく「子どものえがお条例」や、簡単に子育ての悩みを検索できる「子育てポータルサイト」など、様々な分野から市独自の子育てサポートに非常に力を入れて取り組まれています。さらに「日本DX大賞2024」にて優秀賞を受賞される

## editorial note

等、市全体でデジタル化への意識を高めていच्छることを強く感じました。末尾になりましたが、今回ご協力いただきました皆さまには心より感謝申し上げます。

(広報室 A.S)

ワイヤレス

# あなたのスマホやイヤホンの

ぎてき

## 技適マークをチェック!



### STOP THE 不法電波!

知ってる? 技適マーク 

技適マークは、電波法で定めている技術基準に適合した無線機器であることを証明するマークです。無線機器を買う時、使う時はちゃんとチェックしてね!



### 見えない電波を守る見えるマーク

電波に関する困りごと、ご相談は下記までお問い合わせください。

北海道総合通信局 (011)737-0099	信越総合通信局 (026)234-9976	近畿総合通信局 (06)6942-8535	九州総合通信局 (096)312-8253
東北総合通信局 (022)221-0641	北陸総合通信局 (076)233-4447	中国総合通信局 (082)222-3332	沖縄総合通信事務所 (098)865-2308
関東総合通信局 (03)6238-1939	東海総合通信局 (052)971-9107	四国総合通信局 (089)936-5051	

アニメーションCM公開中!



総務省

<https://www.tele.soumu.go.jp/>

詳しくは 総務省 電波利用

検索

# はじまります! 国勢調査

インターネット回答で  
かんたん便利に!



調査期日

2025年  
10月1日

日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした、最も重要な統計調査です!

5年に一度、全員参加の統計調査



# 国勢調査 2025



国勢調査2025キャンペーンサイト

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

国勢調査2025

検索



総務省統計局・都道府県・市区町村

この印刷物は古紙配合率70%再生紙を使用しています。